

① 職場の概要（仕事の内容）

- 秋田空港における飛行場管制業務
- 秋田空港・航空路監視レーダー事務所が所掌する、航空保安無線施設等の維持管理
- 秋田空港・航空路監視レーダー事務所における事務管理業務

② 倫理保持に関連する取組の概要

- 毎月初めに、公務倫理、交通法規、文書管理等を題材とした「リンリンクイズ」を実施している。
- 令和7年5月から開始。所長が月初めにテーマを決めて問題を5問作成し、全職員を対象としている。
- 当所は、全職員が自家用車通勤であるため、交通法規遵守に力を入れている。また、冬期は積雪が多いため、スリップ事故等の防止も徹底。リンリンクイズを通して、事務所全体の倫理保持や交通安全の意識醸成を進めている。
- この「リンリンクイズ」は、単に文書で作成したものではなく、HTML形式で作成し問題終了後には、所長へ回答率と実施確認を報告するメールが自動で立ち上がるなどの工夫をして、職員が業務に負担無く取り組みやすいように工夫している。

③ ②に記載した倫理保持に関連する取組の目的及び効果

- 8月に実施した自転車に対する新ルールの問題では、「今後、十分に注意したい」等の感想が寄せられ、十分に効果が発揮できていると感じられた。
- 11月は、「冬タイヤ装着徹底月間」として、冬タイヤに関する基礎知識を問う問題を作成し、職員の意識向上に寄与したと感じている。そのため、11月中旬の降雪・積雪までには、ほとんどの職員が問題なく対応できていた。
- 今冬秋田県は、例年以上に積雪が多く、1月に当所職員によるスリップ事故2件発生したことから、12月期に続き2月期にも雪道運転における注意事項に関する問題を出題し、安全運転のさらなる徹底をはかった。
- 異動で職員が入れ替わっても本取組を継続することで、職場全体の意識向上の維持が期待できる。

④ 職場のPR内容

- 全体で23名と少数の職場ですが、職種の垣根を越えた良好なコミュニケーションを通じて、秋田の航空行政を円滑に進めています。
- 秋田空港内の県、航空会社を始めとした各種組織とも密接に連携して情報を共有し、空港全体で秋田の空の「安全・安心」を支えています。